



# 新型コロナウイルスワクチン接種体制 【練馬区モデル】

令和3年2月16日  
練馬区

【練馬区モデル】 練馬区長 前川耀男

# 練馬区モデルとは

個別接種と集団接種のベストミックスにより短期間で接種完了  
診療所での個別接種をメインに、集団接種会場がカバー

個別接種会場は、区内約250か所の診療所

集団接種会場は、

平日常設 6か所の病院、4か所の区立施設

土日開設 区役所本庁舎

8か所の学校体育館（延96校を巡回開設）

予約は、個別接種は直接診療所へ申込（高齢者インフルエンザ  
ワクチン接種と同じなので混乱が少ない）

集団接種は区が受付（インターネット・自動音声受付）

訪問診療受診者および高齢者施設等入所者への接種は、11ページを参照

【練馬区モデル】 練馬区長 前川耀男

## 新型コロナウイルスワクチン接種体制 練馬区モデル

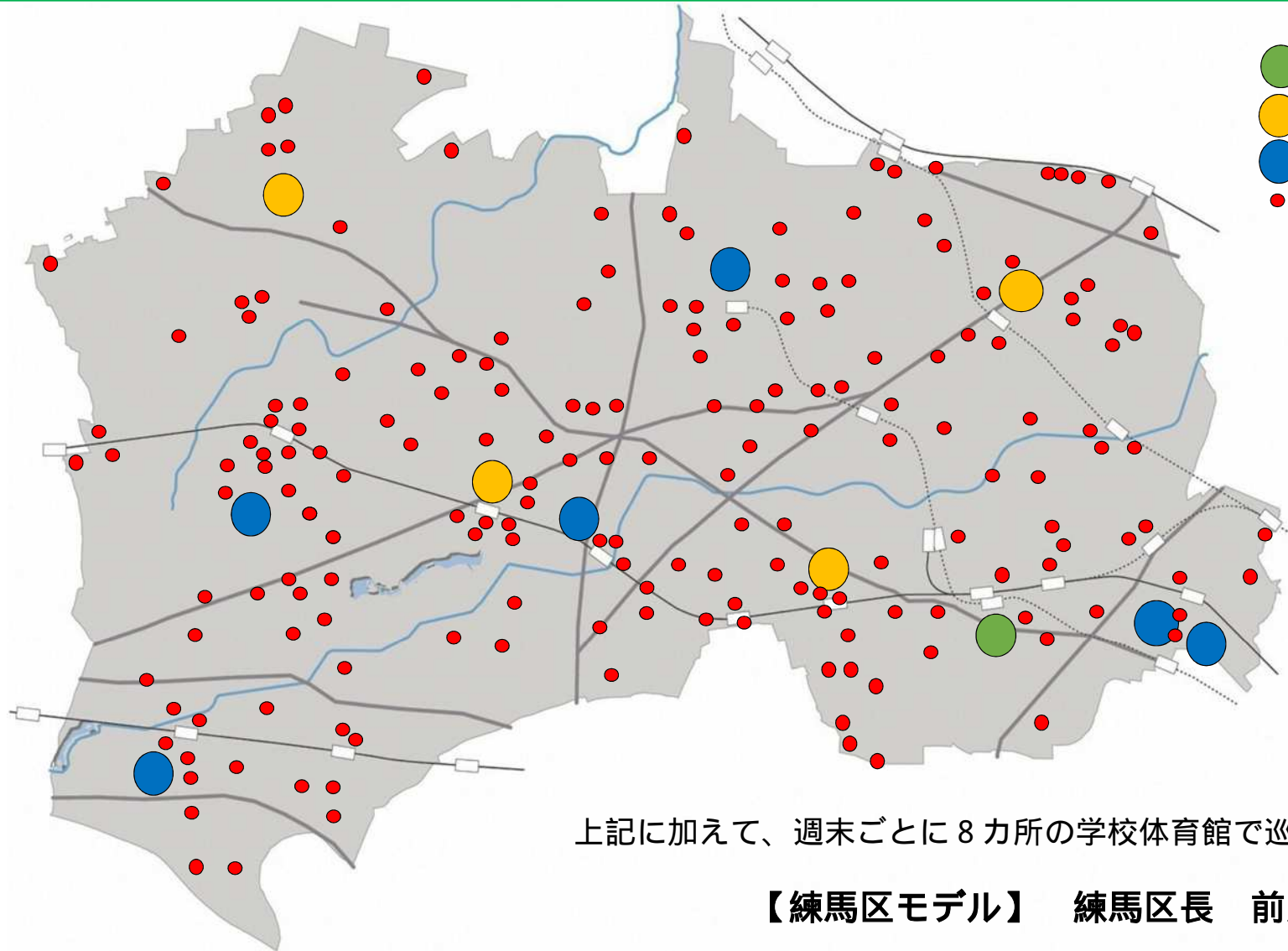
- 【練馬区総人口】74万人 《高齢者：16万人、その他一般：58万人（うち16歳未満：9万人）》  
【接種率の想定】約65%（今期高齢者インフルエンザワクチン接種率見込）  
【接種会場】 診療所：約250カ所、病院：6病院、区立施設：5施設、学校体育館：延96校  
【接種期間】 高齢者：最初の6週間（3週間×2回）で接種（ファイザー社製ワクチンを想定）

### 練馬区モデルのコンセプト

# 早くて 近くて 安心です

- 早くて 接種まで1か月も待たせない 速やかに接種できる体制を確保
- 近くて 近くの診療所で接種可 電車やバスに乗る必要なし 平日忙しければ土日に
- 安心です 通いなれた「かかりつけ医」が接種するので安心

## 接種会場配置イメージ

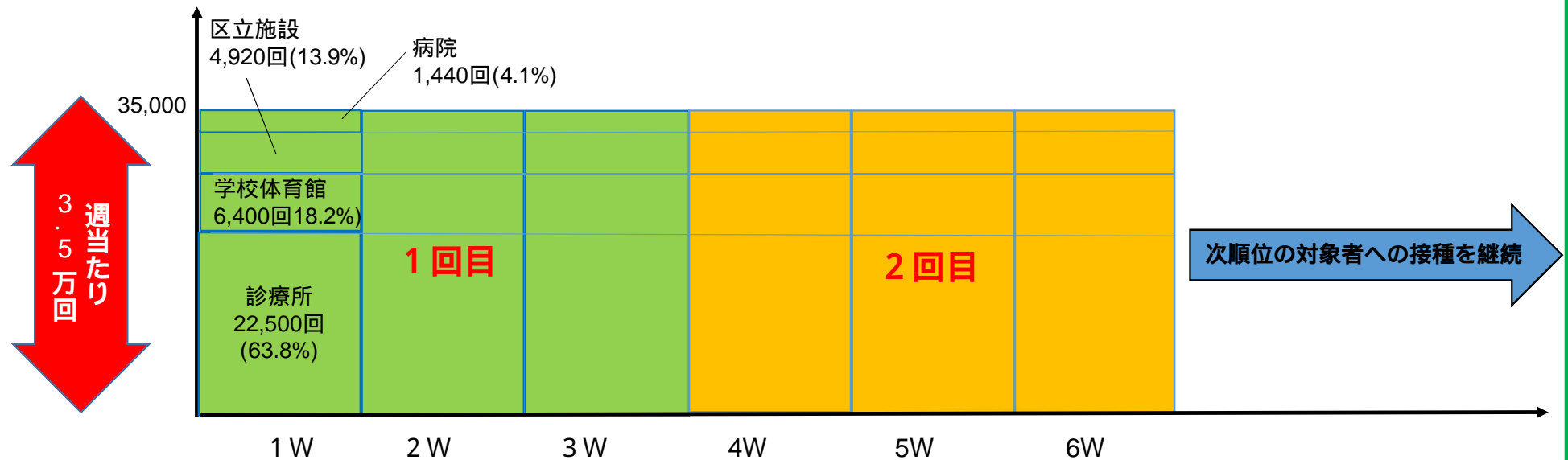


【練馬区モデル】 練馬区長 前川耀男

# 接種数の想定（高齢者） 〔ファイザー社製ワクチンを想定〕

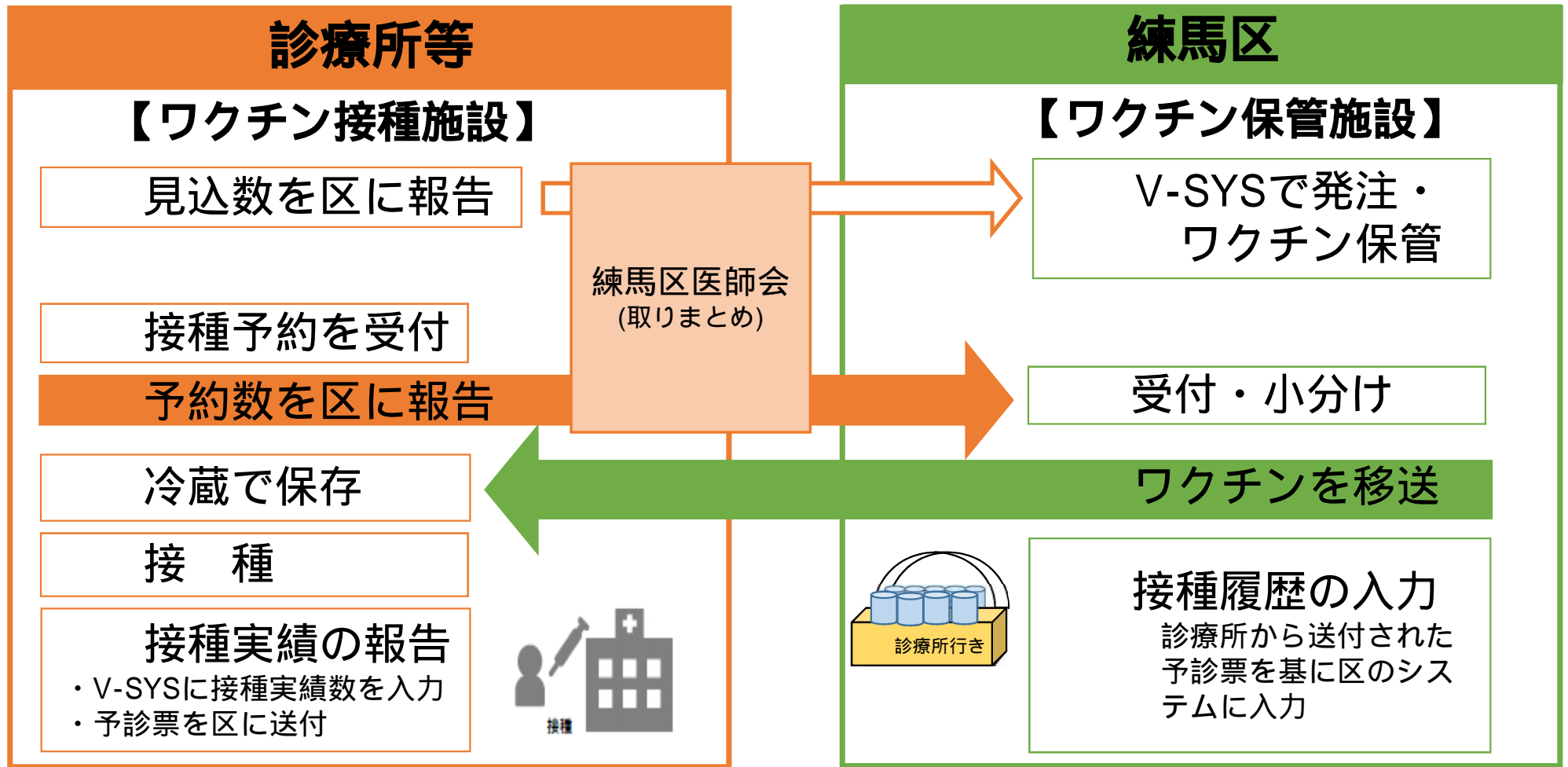
## 接種数の想定（高齢者）

65歳以上高齢者16万人、接種率65%、2回接種で21万回の接種が必要  
週当たり3.5万回接種することで、6週間で2回の接種(21万回)が完了



# ワクチンの小分けによる診療所での接種

# 診療所等での接種の流れ





## ワクチンの小分け方法

練馬区全体を4つの区域に分け、各区域の区立施設を基本型接種施設に位置づけて、区域内診療所（50～70か所）へ小分けして移送する。

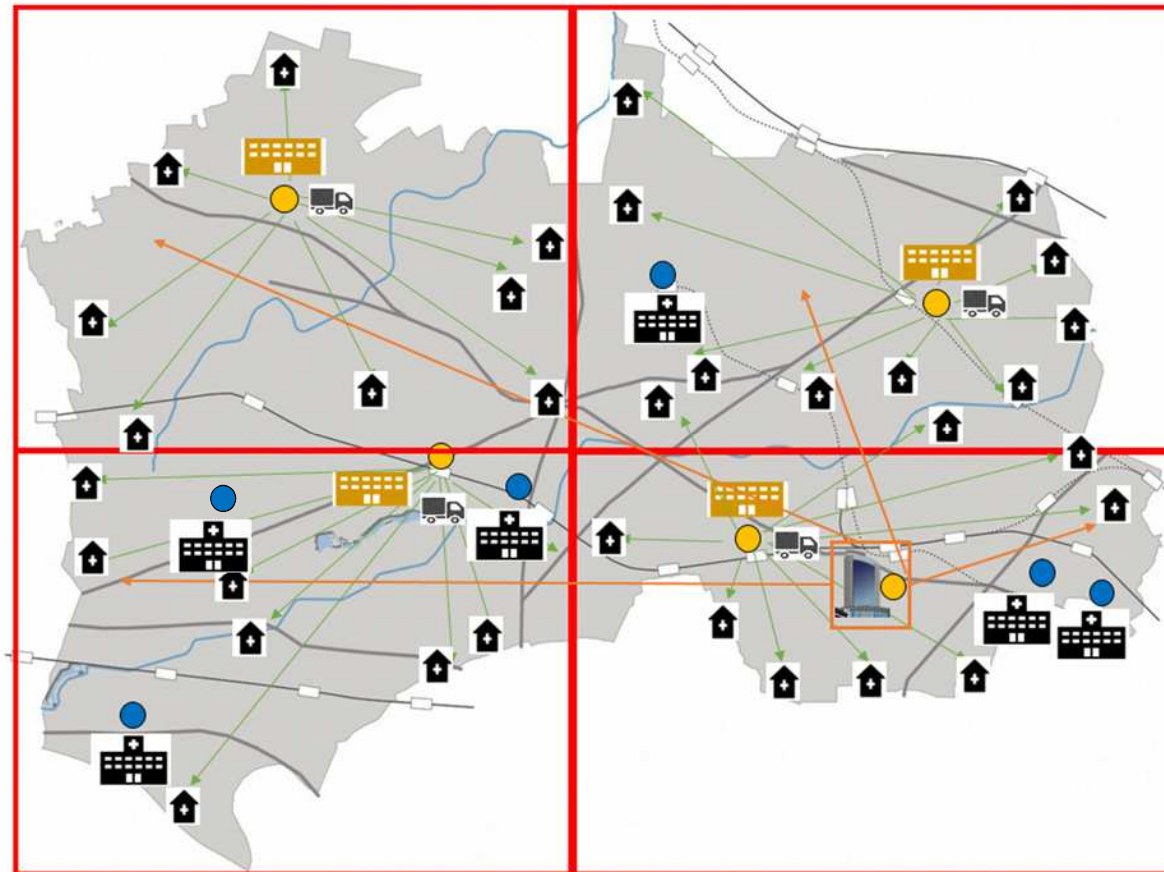
### 【集団的接種会場】

- 病院
- 区立施設  
ディープフリーザーを配置

### 【個別接種会場】

- 🏠 診療所等  
基本型接種施設から移送されたワクチンを冷蔵管理しながら5日間で使い切る。

本庁舎（）は、全体統括として、全地域のフォロー移送を行う。



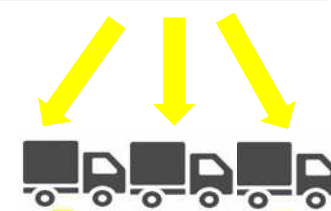
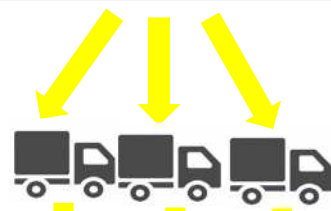
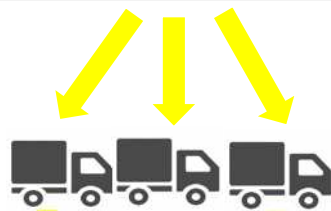
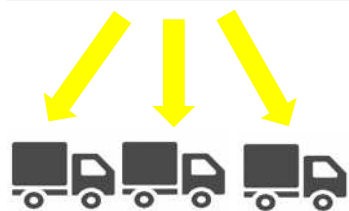
ディープフリーザーを順次増設した場合には、より小さな区域を設定することも可能

【練馬区モデル】 練馬区長 前川耀男 8

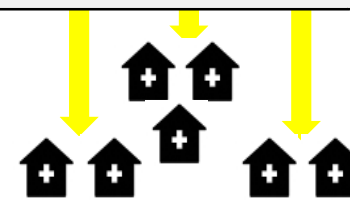
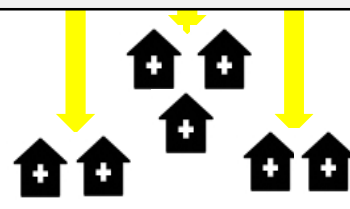
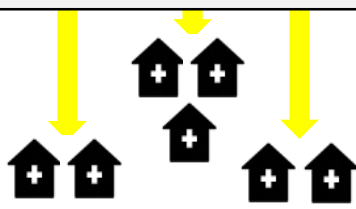
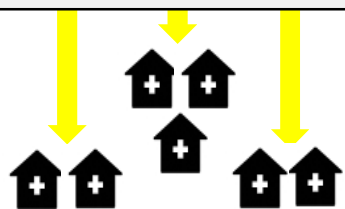
# 基本型接種施設（区立施設）から診療所等へ移送イメージ



基本型接種施設（区立施設 4 か所）にて50～70個に小分け

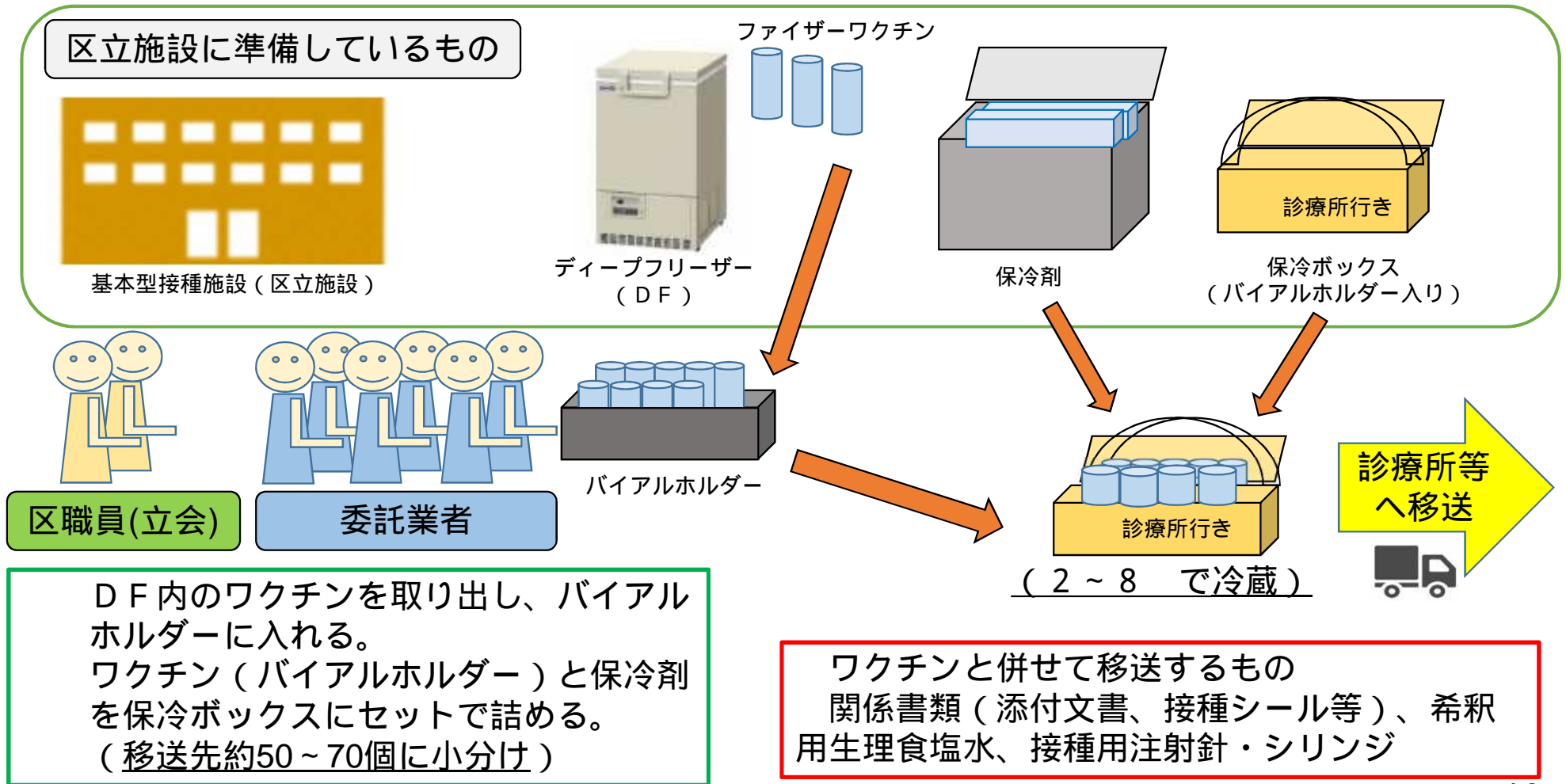


配送委託事業者（トラックなど）が移送（原則として3時間以内）



診療所等（約250か所）に個別に納品（5日以内で使用）

# 基本型接種施設（区立施設）での小分け作業フロー



DF内のワクチンを取り出し、バイアルホルダーに入れる。  
ワクチン（バイアルホルダー）と保冷剤を保冷ボックスにセットで詰める。  
（移送先約50～70個に小分け）

ワクチンと併せて移送するもの  
関係書類（添付文書、接種シール等）、希釈用生理食塩水、接種用注射針・シリンジ

## 訪問診療受診者および高齢者施設等入所者への接種

区内訪問診療受診者数 約6,000人  
訪問診療を実施する区内医療機関数 約100か所

訪問診療を受けている患者へのワクチン接種は、原則、その主治医が行う。

区内高齢者施設等入所者数 約10,000人

- ・ 特別養護老人ホーム（32施設）、介護老人保健施設（14施設）等  
当該施設の嘱託医・施設医等がワクチン接種を行う。
- ・ その他医師の関与がない施設等  
区が委託した医師が施設を回りワクチン接種を行う。

**1日に接種する件数を5の倍数となるようスケジュールを作り、自分が属する地域の「基本型接種施設（区立施設）」にワクチンの発注を行い、受け取る。**

## ワクチンを無駄にしない取組

診療所での接種体制は、練馬区医師会の協力により構築。  
ワクチン取扱上の注意（5日で使い切るなど）については、医師会を通じて周知徹底する。

週2回ワクチンを移送し、5日以内に接種を完了する体制を構築する。

各診療所では、バイアル（瓶）ごとの接種回数の端数など、接種されないままとなるワクチンが発生しないよう、接種は予約制とする。

1バイアル5回分なので、1日の予約数は5の倍数とする。

当日キャンセルに備え、下記の方法等により、廃棄されるワクチンの発生を抑制する。

接種の待機者（早急な接種を希望する者、翌日以降の予約者）に連絡し、接種する。

優先接種区分に関わらず、付き添いで希望する方などに接種する。

# 事前周知から接種までの流れ

## 事前周知から接種までの流れ（高齢者）

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1.事前周知<br>< 3月1日 ~ >    | 区報、区ホームページ、区内掲示板等で区民に周知（2回程度）<br>（1回目）制度説明（2回目）接種券送付のお知らせ 相談コールセンター開始 |
| 2.接種券等の発送<br>< 3月中旬以降 > | 接種券やお知らせを対象の高齢者（16万人）に送付  |
| 3.ワクチンの配分               | ワクチン割当を受け、区接種会場、配送拠点ごとに割り当て<br>区拠点から医療機関に小分けし割り当て（区が接種量調整、V-SYS入力）    |
| 4.接種会場・予約<br>方法の周知      | 「コロナワクチンナビ（V-SYS）」、区ホームページ等にて広く周知                                     |
| 5.予約開始<br>< 3月中旬以降 >    | 診療所：各診療所へ直接予約<br>集団接種会場：予約専用電話(音声対応100回線)、WEB予約システムにて予約               |
| 6.接種（1回目）               | 予約した日時・会場にて接種   |
| 7.接種（2回目）               | 1回目と同じ医療機関・会場で接種（原則）  |

# 集団的接種の流れ

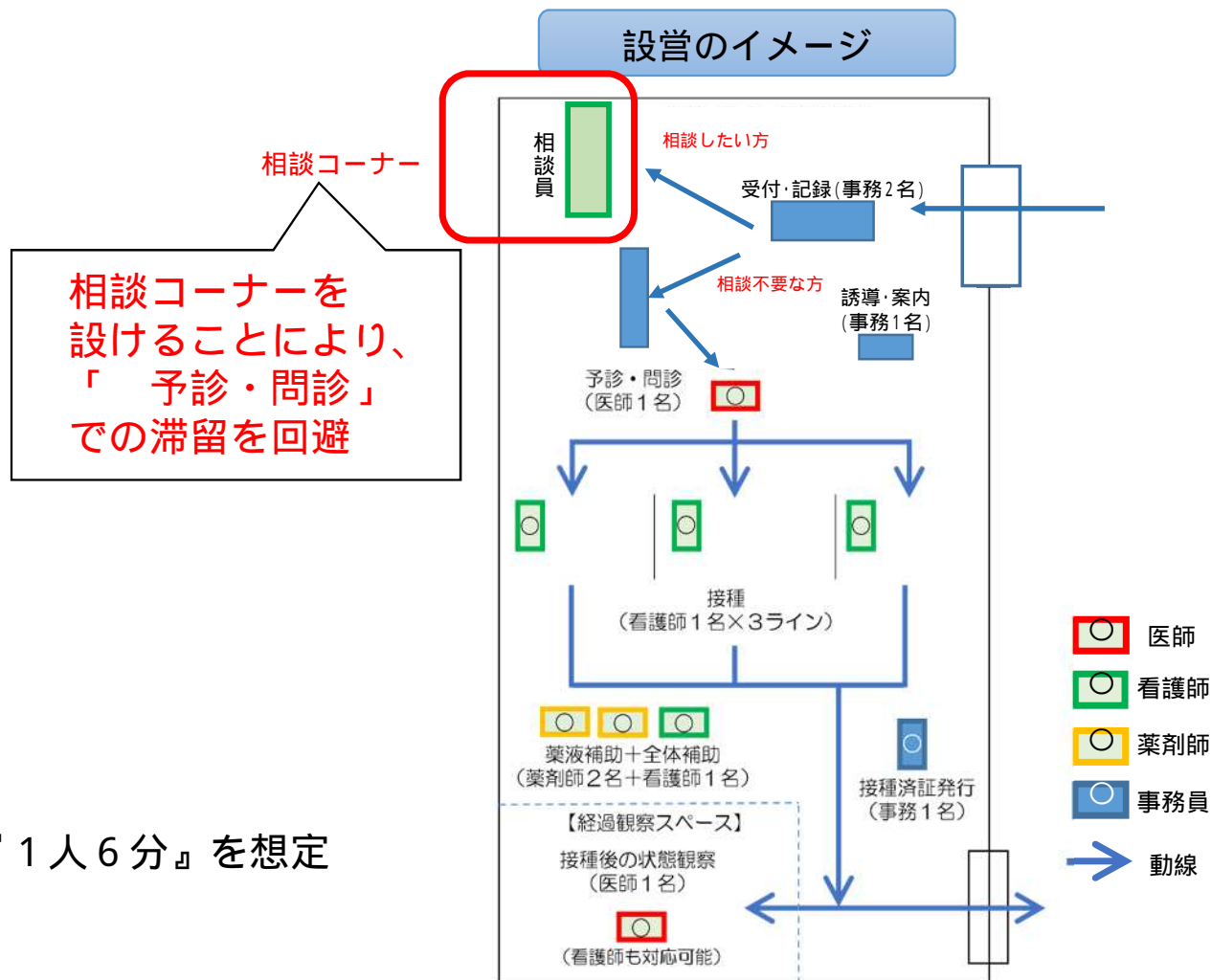


# 区立施設・学校体育館での集団接種

## 【当日の流れ】

- 受付
- 相談コーナー  
(希望者のみ)
- 予診・問診
- 接種
- 接種済証発行
- 観察

受付から接種までの時間を『1人6分』を想定



相談コーナーを設けることにより、「予診・問診」での滞留を回避

【練馬区モデル】 練馬区長 前川燿男

# 相談・広報体制、小分け管理の試行

## 新型コロナウイルスワクチンに関する相談・広報体制

区民からの問い合わせ・相談

コールセンター

チャットボット

区民への周知・広報

ねりま区報

練馬区公式ホームページ

練馬区公式各種SNS（ツイッター、フェイスブック）

周知用ポスター・チラシの掲示、配布

## ワクチンの小分け管理の試行について

医療従事者の優先接種に合わせ、区で行う小分け管理を試行する。

〔実施内容〕 医療従事者の優先接種を一部診療所で実施することで、ワクチンの小分け方法等を試行、検証する。

〔体制〕 練馬区医師会と協力し実施。

〔検証〕 試行後、課題の洗い出しを行い、高齢者の接種に向け、業務を改善していく。